

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にしている中学生

目指す生徒像(重点)

- I 人とかかわりの中で、自分自身のあり方を求めていく生徒
- II 『問い』を立て、自分のことばで発信し、追究する生徒
 - ①聞く・受け止める・問いをもつ
 - ②考える・話す・伝える
 - ③分かり合う
 - ④考えを更新する
- III 一つになって、一人となって『明倫の心』を積み重ねる生徒 自らを鍛え、体を大切にしている中学生

昨年度の学校自己評価の結果をもとに、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。

そして「12項目の観点」によって、アンケート(生徒・職員・保護者)を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実施内容	学校評価の観点
<p>【Iについて】</p> <p>重点目標</p> <p><u>相手の心を思い、人とかかわる力をつける集団づくり</u></p> <p>○願いや思い、考えを伝え合える質の高い集団作り</p> <p>○人の心を思いやり、自分の考えを安心して伝えあえる集団の基盤づくり</p>	<p>1 生徒会など異学年どうしの関わり、学年行事など同学年どうしの関わりを通して、互いに関わり学びあうことに充実感をもてるようにする。</p>
	<p>2 生徒が自分の思いや考えをもって学活、総合、生徒会等の活動に取り組めるようにする。</p>
	<p>3 校内の掲示物や作品などに、生徒のことばがあふれる環境づくりをする。</p>
	<p>4 他人の意見を尊重し、自分のことばで気持ちを伝えられるようにすることで、居心地のよい学校づくりをする。</p>
<p>【IIについて】</p> <p>重点目標</p> <p><u>授業づくりの4視点の継続</u></p> <p>○①～④の視点での授業づくり</p> <p>○ICTを活用した学び方の工夫</p> <p>○「わかる楽しさ」と「できる喜び」を感じる学習環境の整備</p>	<p>5 学びへの興味・関心を引き出す場面を設定することで、子ども自らが問いを立て、追究しようとする授業をつくる。</p>
	<p>6 自分の「ことば」を発信し、互いの考えを交流することで、考えの広がりや深まりを感じられるまとめを行う。</p>
	<p>7 自己の変容や、「できた・わかった」と感じられる学びの振り返りの場をつくる。</p>
	<p>8 より深く広い学びに挑戦できるように、ICT機器を授業や生活の中で活用する場をつくる。</p>
<p>【IIIについて】</p> <p>重点目標</p> <p><u>日常生活で一人となって実践する心の育成</u></p> <p>○一つになって活動し、一人となって取り組む生徒会活動の工夫</p> <p>○一人となって自分を見つめるキャリア教育の推進</p> <p>○自分をコントロールする力をつけ、一人を大切にしている学級づくり</p>	<p>9 生徒会スローガンをもとに、生徒自らが一会員としての自覚をもち、各委員会の生徒会活動を自分のことと捉えて実践していくような場をつくる。</p>
	<p>10 教科や領域の学習を通して、学んだことが世の中でどのように役立っているかを考え、自分の調べたいことをみつけ、探究していく授業をつくる。</p>
	<p>11 総合的な学習の時間や学年行事の事前・事後学習を通して、地域とのつながりを深め、地域のために自分は何ができるか考えていく場をつくる。</p>
	<p>12 特別活動、道徳、学級通信などにおいて一人ひとりの良さを取り上げ、認め合える場をつくる。</p>